



第31回山中湖杯むさしの招待 少年サッカー大会 3位入賞!

今年のむさしの招待は2011年8月18日(土)と19日(日)に山中湖で大会を行い、6年生全24チームが集まり秋の大会に向けお互いを鍛えあいました。強豪チームが多く集まるこの大会で南八王子サッカークラブは見事3位となりました。その5試合のレポートです。

○チームのめあて

- ・コミュニケーションをとる
- ・サイドチェンジを多く使う
- ・コンビネーションプレー(ワンツー、オーバーラップ、第3の動き)を使う
- ・パスとトラップの精度を高める



8月18日(土) 1次リーグ

○南八王子2-2 油面 前半2-2 得点者：工藤君2点

序盤動きが重く感じられましたが、前半13分、DF林君がうまいボールコントロールからドリブルで攻め上がり、FW工藤君へスルーパス。工藤君がディフェンスラインを抜け出し先制ゴールで1-0。17分、18分と続けて失点し逆転を許します。しかし、前半終了間際に得たコーナーキックのチャンスを再び工藤君がボレーシュートを突き刺し同点とします。

後半3分、MF吉田君からMF荻沢君、更にオーバーラップした林君につながるゴールライン際まで切れ込んでクロスを上げます。5年生で参加のFW小林君がこのボールにあわせ惜しいヘディングシュートを放ちます。18分には林君のミドルシュートがバーに当たる惜しい場面がありましたが、勝ち越し点をとることはできず初戦は引き分けとなりました。

○南八王子5-0 大国01 前半2-0 得点者：小沢君、工藤君4点

前半、相手のキックオフ直後FW能登君とMF荻沢君が猛烈にボールを奪いに相手選手に襲いかかり、荻沢君がボール奪取に成功するとそのままシュートを放ちます。チームに勢いをつけるプレーとなります。そのすぐ後、MF小沢君がミドルレンジからハーフボレーのクリーンシュートを叩き込み先制します。DF井上君がFW工藤君へ絶妙な縦パスを通したり、MF吉田君がディフェンダー二人の間をダブルタッチで抜いたりなど好プレーが出ます。17分に相手ディフェンダーのトラップミスを見逃さず工藤君がシュートを決め、2-0とします。18分にはボールキープするFW小林君を井上君がオーバーラップするシーンなどありますが、追加点はなく前半終了。

後半2分、MF林君からオーバーラップしたDF矢久保君へつなぎ、リターンを林君がクロスを上げるいい形を作ります。12分、15分と工藤君の個人技で2点を追加で4-0とします。19分、小林君がドリブル突破から放ったシュートはゴールキーパーに防がれますが、こぼれを工藤君が決めて5-0で勝利しました。

○南八王子2-1 飯塚 前半1-0 得点者：林君2点

相手はすでに2勝しているため、1位になるためには勝つことが条件となる試合です。

前半7分、FW工藤君が突破を試みるも相手の中心選手の7番に防がれます。南もスピードがあり前の試合でもドリブルシュートで得点している相手FWを井上君

が気迫でシャットアウト。ペースをつかみながら進んだ14分、相手ゴールキックをカットしたMF林君がニアサイドに決め1点をリードします。

後半開始直後、FW荻沢君のゴールに向かうドリブルから工藤君にボールが渡り左足の強烈なシュート。5分、MFに入った小林君の粘りのキープから工藤君、更に荻沢君へといいつなぎが出ます。その2分後、ゴール前で粘った工藤君のがんばりでこぼれたボールを林君が左足の見事なインステップで逆サイドのサイドネットに突き刺し、待望の追加点を奪います。15分にミドルシュートで1点を返されませんが、それ以外はDF中野君、谷口君を中心にしっかり相手の攻撃を跳ね返し2-1で勝利。見事1位通過をものにしました。

8月19日(日) 1位パート

○南八王子1-4 Refino 前半0-1 得点者：能登君

相手チームは前の試合で6点を取って西原を破り勢いにのっているRefino。その勢いのまま、長いキックを使って南を攻め込みます。11分、12分と続けて決定的なシュートを打たれますが、いずれもバーを直撃。ほっとしたのもつかの間、15分にドリブル突破を許しゴールを奪われます。

後半開始早々ミスから失点し、2点差となります。9分、スローインをペナルティエリアで受けたFW工藤君がシュート。13分、DF矢久保君が相手ボールを奪いゴール前にクロス。工藤君が競り合っとうまくつぶれたところ、ファーからFW能登君が走りこんできて左足のダイレクトシュート。ゴールネットに突き刺さり1点差に迫ります。しかし、集中を欠くようなプレーもあり、2失点してしまい1-4で敗れました。

後半3失点しましたが、前半に比べてコンパクトさを保ち、戦う場面がみられ次につながれると感じられる試合でした。

○南八王子3-2 西原 前半0-2 得点者：工藤君2点、林君

この6年間で何度も対戦をし、残念ながらまだ1度も勝ったことのない西原が最終戦の相手となりました。さわやか杯に向けた最後の総仕上げの試合として気合を入れて臨みます。

しかし、前半3分、相手選手の早いドリブルの中央突破を止められず、ゴールキーパーもかわされ無人のゴールへ先制シュートを決められます。更に10分、相手のボレーシュートが決まり2点差で前半終了します。

前半2点の差をつけられましたが、この日のチームはあきらめません。後半、5年生の小林君を自由に動き積極的に攻撃にからむようとトップ下に入れました。他の中盤の選手にも攻撃に参加するように言って送り出します。7分、右のMF林君がFW工藤君へスルーパス。コーナーキックとなります。そのコーナーキックのチャンスを工藤君が粘ってものにします。1-2と1点差です。更に12分、DF5年生の谷口君からのパスを受けた工藤君が相手選手をドリブルで二人抜いてシュートを決め同点に追いつきます。勢いにのって更に攻撃を加速させます。14分、小林君が中盤で相手との競り合いから横にドリブルで抜け出し、林君へパス。林君はそれをダイレクトでディフェンスラインの裏へ出し、工藤君を走らせます。工藤君は相手を振り切っておいしいシュート。そして15分、小林君がドリブルでバイタルエリア中央に進入しシュートを放ちます。相手に当たってボールはコースが変わり枠からはずれませんが、林君が飛び込んでゴールネットを揺らします。逆転ゴール!!! 試合はこのまま終了し、3-2で南が劇的逆転勝利をかざりました!

春は0-6で完敗していたチームに見事な逆転勝ちです。東京都ベスト8クラスの西原に勝ったことは実力がついてきたという証拠です。

白百合とも引き分けかけた君達!!! 10月9日、今までの成果を全部発揮しましょう!!! 2年生に続きたいですね。力があります。気持ち次第です。



むさしの招待は、6年生一番の目標「さわやか杯」を目前に控えた大切な大会で、Cクラスの岩田コーチ、Bクラスの原山コーチ、相田コーチにも参加いただき、様々なアドバイス・指導をいただきました。

そういったことを吸収していったチームは試合を進めていくごとに成長し、戦うチームになってきました。特に攻撃でも守備でもコンパクトな状態を保つことが出来るようになってきたことは大きく、その効果は攻撃ではフォワードだけでなくミッドフィルダーも攻めに加わる迫力のある攻めが出来るようになり得点力もアップし、守備では二人三人と相手選手を挟み込むドッチングが見事に機能するようになったことでした。

強豪24チームの集まる大会で3位に入ったことは本当にうれしく思い、「さわやか杯」に向けて期待に胸を膨らませる結果となりました。

by加藤コーチ

山中湖フィスティバルサッカー大会 9月24日・25日

毎年少女が参加してる山中湖フィスティバルサッカー大会に今年初めて6年生と5年生が4人参加しました。

○1試合目対都留 VMC。山中湖に開始から体が動いていて早々に小沢君のシュートを工藤くんがつめていてゴール。その後も林君の右サイドからの攻撃や井上君のクロスなど好プレイが続く。課題でブルバックを使うの目当てを掲げて戦ってる中、荻沢君の左サイドからブルバックまで行き、中にいた工藤くんを落としキレイにゴールが決まるなど、見ているだけでも全員が成長したのがわかる試合でした。

結果5対0と圧勝だったんですが、0に抑えた要因として、相手の10番をデフェンスの谷口君が何も仕事をさせなかった事や、細川君、牛久保君の後ろからの指示、矢久保君の持ち前のスピードを行かしたデフェンスが0に抑えらと思えます。後半平山君のミドルが二本、今日絶好調の井上君のループシュートが決まり、5対0で初戦を勝利しました。

○2試合目対スペリオール上吉田 FC

開始早々小沢君、荻沢君のワンツーがキレイに決まり、そこに林君が絡んでキレイなつなぎでシュートまでいき、好調かと思いきや、少しづつボールが足元に収まらなくなり始めた頃に、平山君から林君に林君が工藤君にスルーパスを出し工藤君がゴール。いい崩し方をしたんですが、動きは変わらず、ゴール前MFもDFも抜かれっぱなしで諦め失点。

前半終了間際に工藤くんがペナルティエリア内で倒されPKを獲得し工藤くんが決めて2対1で前半終了。

後半に入るも、プレーは変わらなかったんですが、工藤くんがサイドから出したボールを林君が合わせてゴール。

その後パスが弱く間合いも悪いバックパスをとられ失点しましたがなんとか3対2で勝利しました。課題はパスの精度、声の掛け合いが目立ちましたが、1位パートに進出しました。

2日目1位パート

○1回戦増穂 SC

この日も立ち上がりからパスの精度や声の掛け合いがなく、またもバックパスをとられ失点。その後寄りが遅くミドルシュートを決められ2失点。

前半終了間際に吉田君の中央突破のドリブルをペナルティエリア内で倒されPKを獲得し工藤君が決め前半1対2で折り返しました。

後半になると、動きが戻り後半は相手のシュートは0、攻めっぱなしの試合でしたが得点出来ず試合終了。

フレンドリー試合があり結果3対0で勝利。林君が2点、平山君が1点、どの子が出ても変わらない試合内容で、初戦からこの戦いをしてれば…と思いましたが、5年生も持ち味をだせて、繋がる2日間でした。

by平山コーチ

出会いの挨拶（ラポールをとる：存在を認め合う）

山中湖サッカーフェスタ9月25日（日）2日目の朝、会場に入ると青梅新町の3年生くらいの女の子が

「おはようございます」と挨拶をしてくれました。私は「おはようございます。挨拶上手ですね」と言いながら、とてもいい気分になりました。

9月26日（月）の朝、20号沿いの歩道で信号待ちをしていると、交差点を渡る小学生の女の子が交通安全運動指導員のおじさんに

「おはようございます」と大きな声で挨拶をしていました。

嬉しかったのでしょ。おじさんは挨拶を返しながら満面の笑みを浮かべていました。

出会いの挨拶、大切ですね。南の子ども達はどうか。

by矢上

全文視写を毎日

昨日9月18日は柏木小で6年生の市内リーグ戦がありました。

校庭に入ると殿入FCの吉田レオ君が

「矢上先生、おはようございます」

と挨拶してくれました。吉田君は由井三小の5年生で村上先生のクラスで学び、南の子どもたちとも仲良しです。12Bトレセンのメンバーでもあります。

レオ君のお父さん(吉田 歩久斗君)は南のOBで8期生です。高校1年生の時、帝京高校の小沼監督が歩久斗君のプレーを観て、

「東京にこんな子がいたのか」

と悔しがったということです。素晴らしいドリブラーでした。数々の大会でチームを優勝に導いてくれました。

レオ君の試合を観ながら歩久斗お父さんは次のようなことを話してくれました。

「小学校時代、矢上先生にGAMBAノートに全文視写をやるように言われていたので、レオにもノート1ページ分の教科書全文視写をやらせています」

その話を聴いて、(私の思い・考えを息子にしっかり伝えてくれていたんだ)ととても嬉しくなりました。

レオ君にとっておじいさん・歩久斗君のお父さんは永年南のコーチとして活躍してくれた方です。3代にわたる絆を感じ、心がほんわり温かくなりました。GAMBAってきてよかったなと想いました。

レオ君に

「金曜日の午後練において、一緒に練習しようよ。お父さんがいいと言ってくれたから」

と伝えました。合同練習です。平山 悠里君と同じ私の孫、レオ君にもサッカーを教えたいのです。

南の子どもたちにもサッカーと勉強をGAMBAってほしいです。

